

平成〇〇年11月〇〇日〇〇時、初診、当医院を4歳で歯医者デビュー その時の特別な記載、記憶はなし。



平成〇〇年9月生まれ 男子、8歳

平成〇〇年11月〇〇日〇〇時、今回は両側下顎大白歯自発痛のため来院、服装も汚れていてお風呂にも入れてもらえないように見える。

診察時には、全ての歯が虫歯の原因等を説明するが、母親はメールに夢中で説明も同意も携帯電話越しの会話となる。本人は母親に対してかなりおびえているようである。

その後、来院・中断が続き、痛みが起きるたびに一人で来院。一人で来院時には人なつっこい明るい性格で、愛着障害では？とカルテ記載。

翌年、年のはなれた姉が連れてくることもあった。

状況把握のため小学校に連絡を取るが小学校側は積極的にかかわりを持つことを嫌がられたため、市の児童福祉課へ相談。その後消息は掴めていない。



平成〇〇年9月〇〇日〇〇時、初診、急患にて上顎乳前歯疼痛にて母親と来院。



平成〇〇年4月生まれ、6歳

問診では遊んでいるときに転倒と記載。

保険上の確認のため通学時か否かを確認するが、本人は答えてくれず母親に確認するが自分で転んだことを強く主張する。

翌日、一人で消毒に来院、「コケたんか！」と聞くと否定！理由を聞くも答えてくれず。

一週間後、無断キャンセルのため連絡を取るよう受付へ伝えるが何度電話をしても繋がらずその後、来院せず。